

平成22年度事務事業評価表(平成21年度振り返り)

政策名 子どもがのびのび心豊かに育つまち

施策番号・名 12 活力ある学校づくり

基本事業番号・名 12-06 特殊教育(特別支援教育)の充実

事務事業番号	所管課係名	事務事業の目的 (事務事業の対象、手段、意図)	対象指標 (対象の数値指標化)		活動指標 (手段の数値指標化)		成果指標 (意図したことの結果の数値指標化)		事業費 (実績額) ① (千円)	人件費 (理論値) ② (千円)	トータル コスト ①+② (千円)	改革・改善の余地 (目的妥当性・効率性・有効性・公平性から)		改革・改善の余地を踏まえた 平成23年度以降に向けた事務事業の方向性 (所管課長記入欄)	
	事務事業名		指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)				選択項目	説明(選択理由)	選択項目	説明(選択理由)
12-06-01	指導室 指導係	対象	特別支援学級在籍児童生徒	平成21年度 92 (人)	平成21年度 8 (回)	特別支援学級在籍 児童生徒数	平成21年度 8 (回)	平成21年度 0	平成21年度 403	平成21年度 403	選択項目	説明(選択理由)	選択項目	説明(選択理由)	
	特別支援教育事業	手段	特別支援教育推進委員会や特別支援学級担任研修会講師招聘	平成20年度 85 (人)	平成20年度 8 (回)		平成20年度 8 (回)	平成20年度 20	平成20年度 395	平成20年度 415	22年度以降に向けた方向性	現状維持	所管課長名: 指導室 片柳博文	23年度以降に向けた方向性	現状維持
		意図	推進委員会や担任研修会の充実によって特別支援教育の向上を図るのため。	平成19年度 79 (人)	平成19年度 8 (回)		平成19年度 6 (回)	平成19年度 48	平成19年度 394	平成19年度 442	改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	特別支援教育の充実のため、研修会等が重要であることから現状維持が必要である。	推進委員会や担任研修会の充実によって特別支援教育の向上を図ることは重要である。	
12-06-02	学務課 学事係	対象	小・中学校特別支援学級設置校の実施する校外学習に参加する児童・生徒	平成21年度 124 (人)	平成21年度 11 (回)	特別支援学級に在籍する児童・生徒数	平成21年度 124 (人)	平成21年度 441	平成21年度 151	平成21年度 592	選択項目	説明(選択理由)	選択項目	説明(選択理由)	
	特別支援学級校外学習事業	手段	小・中学校特別支援学級設置校の実施する校外学習のバス借り上げ及び介助員に対する賃金、交通費の支払	平成20年度 121 (人)	平成20年度 12 (回)		平成20年度 121 (人)	平成20年度 471	平成20年度 149	平成20年度 620	22年度以降に向けた方向性	現状維持	所管課長名: 学務課 稲葉勝之	23年度以降に向けた方向性	現状維持
		意図	校外学習などの集団行動を通して、集団生活上の基本的な生活習慣を身につける。	平成19年度 111 (人)	平成19年度 11 (回)		平成19年度 111 (人)	平成19年度 359	平成19年度 149	平成19年度 508	改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	校外学習などの集団行動を通して、集団生活上の基本的な生活習慣を身につけることはあるものの、児童の登・下校の安全を考えれば22年度以降も現状を維持する必要がある。	計画道路の整備などに伴い、配置状況に変化はあり、必要とする教育が受けられるため目的は妥当であり、改善・改革の余地はない。	
12-06-03	学務課 学事係	対象	通級学級に通学する児童	平成21年度 31 (人)	平成21年度 177 (回)	第7小学校のあすなろ学級バス運行日数	平成21年度 0 (人)	平成21年度 3,382	平成21年度 25	平成21年度 3,407	選択項目	説明(選択理由)	選択項目	説明(選択理由)	
	特別支援学級通学バス運行事業	手段	通級学級設置校が第七小学校1校であるため、在籍児童の中には、通学距離が非常に長い方もいる。児童の安全な通学をするため自宅から学校間の送迎を行う通学バスを委託契約により確保している。	平成20年度 36 (人)	平成20年度 169 (回)		平成20年度 0 (人)	平成20年度 3,517	平成20年度 25	平成20年度 3,542	22年度以降に向けた方向性	現状維持	所管課長名: 学務課 稲葉勝之	23年度以降に向けた方向性	現状維持
		意図	安全に通学できる。	平成19年度 32 (人)	平成19年度 177 (回)		平成19年度 0 (人)	平成19年度 3,525	平成19年度 25	平成19年度 3,550	改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	特別支援学級に通級する児童に対し、通学用に事業を運行しているものである。必要とする教育が受けられるため目的は妥当であり、改善・改革の余地はない。	特別支援学級に通級する児童に対し、通学用に事業を運行しているものである。22年度以降も引き続き、現状を維持したい。	
12-06-04	学務課 学事係	対象	市立小・中学校の特別支援学級並びに通級学級に在籍している児童・生徒	平成21年度 124 (人)	平成21年度 14 (日)	特別支援学級参加人数+通級学級参加人数	平成21年度 105 (人)	平成21年度 3,803	平成21年度 505	平成21年度 4,308	選択項目	説明(選択理由)	選択項目	説明(選択理由)	
	特別支援学級宿泊学習事業	手段	市立小・中学校特別支援学級設置校が実施する宿泊訓練の参加に要する経費を、学校長よりの申請を踏まえ一部補助する	平成20年度 118 (人)	平成20年度 17 (日)		平成20年度 107 (人)	平成20年度 3,957	平成20年度 495	平成20年度 4,452	22年度以降に向けた方向性	現状維持	所管課長名: 学務課 稲葉勝之	23年度以降に向けた方向性	現状維持
		意図	生活や学習上の困難を改善または克服する力を身につける	平成19年度 116 (人)	平成19年度 17 (日)		平成19年度 97 (人)	平成19年度 4,086	平成19年度 495	平成19年度 4,581	改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	宿泊訓練を通して、集団生活上の基本的な生活習慣を身につけることは、必要とする教育が受けられるため目的は妥当であり、改善・改革の余地はない。	22年度以降も現状を維持したい。	